

<地場産農産物の加工・販売に取り組む事例>

〇もちの加工・販売推進への取り組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>かみかわぐん あいべつちよう きようわ</small> 上川郡 愛別町 協和			
協定面積 6ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	糯米・そば・牧草			
交付金額 123万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当		3%
		水路・農道等の管理 (清掃、草刈り)		12%
		農村景観の整備 (会館等周辺清掃)		5%
		生産性・収益の向上 (共同機械の導入経費助成)		29%
	事務費		1%	
協定参加者	農業者 7人、特定農業法人 1法人、非農業者 4人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

当集落は、過疎化・高齢化の影響により、集落機能の低下が見られ、農業振興上大きな課題となっていたが、平成12年度からの本対策の実施により、積極的な農業生産活動及び共同活動が実施され、集落の活性化が図られている。

また、地域の主要な担い手である特定農業法人を核とした営農活動が行われていたこともあり、本対策においても、集落のまとめ役として重要な役割を果たし、多様な共同活動が展開されている。

3. 取組の内容

当集落においては、平成19年度から協定参加者の中核を担う特定農業法人により、もちの加工・販売が開始されている。

今期対策からは、協定農用地で収穫されたもち米も使用し、協定参加者の大半がもちの加工・販売に携わっていることから共同取組活動として位置づけることとした。

今後は交付金を施設整備費等へ活用することも考慮しながら、さらなる加工・販売の推進を図っていきたいと考えている。

これにより、新たな雇用の創出、所得の向上を図り、地域活性化に繋げていく。



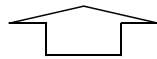
【集落話し合いの風景】



【もち工房愛ふくふく もちの加工品】

[集落の将来像]

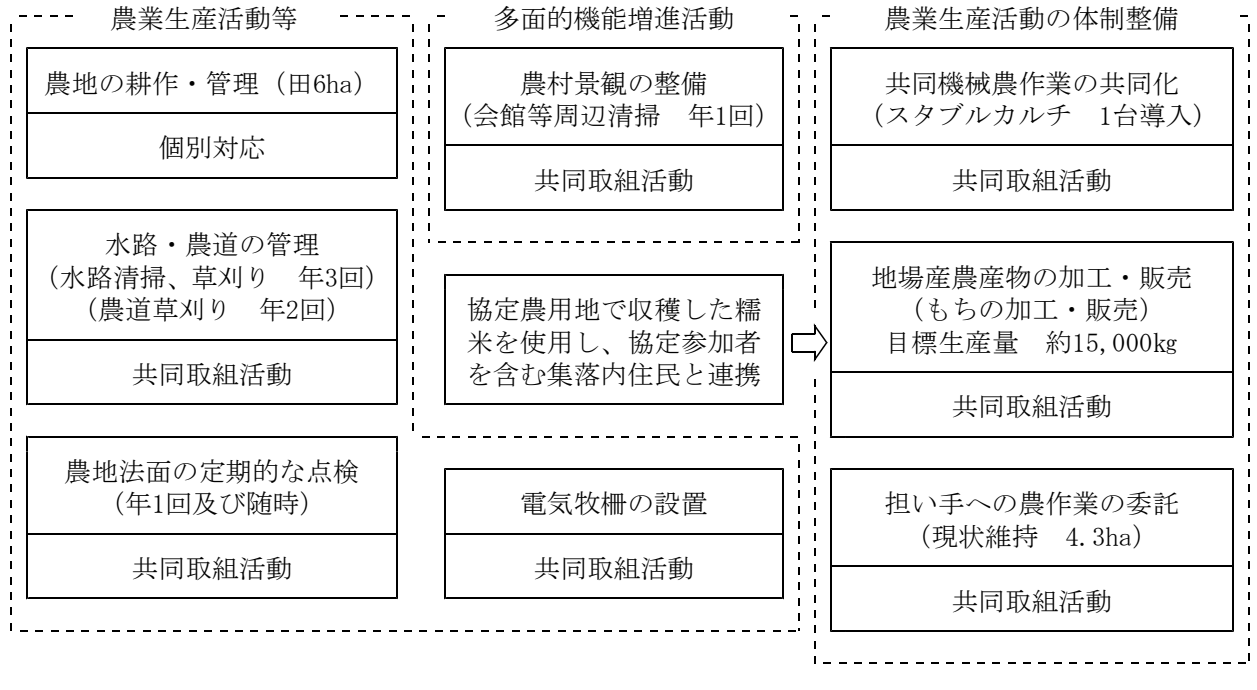
○集積対象者を核とし、地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

- 機械・農作業の共同化（共同機械導入経費助成 スタブルカルチ 1台）
- 地場産農産物の加工・販売（もちの加工・販売 目標生産量 約15,000kg）
- 担い手への農作業の委託（現状維持 4.3ha）
- 共同で支え合う集約的かつ持続可能な体制整備

[活動内容]



4. 今後の課題等

現在取り組んでいる共同活動を基礎とし、活動の評価や活動項目・手法の見直しが必要であり、継続した集落内での話し合いが重要である。

また、もちの加工・販売を推進し、新たな雇用の創出や所得の向上を図り、地域の活性化に繋げていくとともに、共同機械の導入による作業効率の向上、特定農業法人を中心とした積極的な農業生産活動を行っていく。

[第2期対策の主な成果]

- 水路・農道の管理（清掃、草刈り、補修 年3回及び随時）
- 稲わらの収集・搬出（協定農用地のうち 2ha）
- 農業機械の共同作業・利用の推進（農作業の共同化 6ha）
- 共同機械更新による作業効率の向上（ハーフクローラトラクターの導入経費助成 1台）
- 担い手への農作業委託の継続実施（農作業委託 4.3ha）
- 地域農業の関心を促す学校農園活動の推進（学校農園への苗の供給と農作業指導 年3回）